

連携だより



発行：苫小牧市立病院
患者サポートセンター
(地域医療連携室)

副院長退任のご挨拶

副院長 竹内 一郎(泌尿器科)

このたび、令和8年3月をもちまして、副院長の職を退任することとなりました。

副院長という重責を仰せつかって以来、今日まで職務を全うできましたのは、患者様や地域の皆様、そして日夜現場を支えてくださるスタッフの皆様の多大なるご支援があったからこそと、深く感謝申し上げます。



振り返れば、在任期間中は医療を取り巻く環境が目まぐるしく変化する激動の時代でした。地域医療の質の向上、そして安全で安心な診療体制の確立など、当院が直面した数々の課題に対し、組織を預かる立場として微力ながら尽力してまいりました。

時には困難な決断を迫られる局面もありましたが、どのような時も「市民の健康は私たちの願い 真心をこめて医療を提供します」という当院の理念を共有し、一丸となって歩んできてくださった職員の皆様の姿には、私自身が何度も勇気づけられ、学びを得る毎日でした。

さて、このたび副院長としての職務には一つの区切りをつけますが、退任後も引き続き当院の医師として、皆様と共に診療に携わらせていただくこととなりました。今後は管理職としての立場を離れ、一人の医師という原点に立ち返り、これまで以上に患者様お一人おひとりの声に耳を傾けてまいりたいと考えております。副院長としての経験を糧に、今度はより現場に近い視点から当院の医療の質向上に寄与し、また次世代を担う若手医療従事者の育成にも力を注いでいく所存です。病院の運営は次世代のリーダーたちへとバトンを繋ぎますが、私自身も一人のチームメンバーとして、この病院がより地域に愛され、信頼される場所となるよう、これからも変わらぬ情熱を持って歩み続けてまいります。

最後になりますが、苫小牧市立病院のさらなる発展と、地域の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。長い間、本当にありがとうございました。

整形外科 診療体制の強化について

当院整形外科では、令和8年4月より新たに医師2名体制となり、外来診療および入院診療のさらなる拡充を図っております。これにより、これまで以上に円滑で質の高い診療の提供が可能となりました。

当科では、上肢・下肢関節外科を専門とし、人工関節手術をはじめ、関節温存手術やおよび関節鏡手術など、低侵襲で機能回復を重視した治療を積極的に提供しております。

また、スポーツ整形外科にも注力しており、肩関節脱臼、野球肘、前十字靭帯損傷、半月板損傷などの手術症例に加え、スポーツ障害や外傷に対する保存療法から手術治療まで幅広く対応しております。患者様の活動性や競技特性を考慮した治療を提案し、早期の社会復帰や競技復帰を支援しております。

つきましては、関節疾患や外傷をはじめとする整形外科疾患の患者様をご紹介賜りますようお願い申し上げます。

当院では、今後とも、地域の先生方と連携を大切にしながら、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。何卒ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

整形外科 医師紹介

診療部長 瓜田 淳(うりた あつし)

【専門分野】 肩・肘・膝関節外科（腱板断裂、変形性関節症など）
スポーツ整形外科
（反復性肩関節脱臼、野球肘、前十字靭帯損傷など）



医長 宮崎 拓自(みやざき たくじ)

【専門分野】 股・膝関節外科、下肢人工関節



整形外科 外来日程

	月	火	水	木	金
担当医師	瓜田	瓜田	瓜田	出張医	宮崎
	宮崎	出張医	宮崎	出張医/瓜田	出張医

※新患患者は毎日受け入れており、紹介状が必要となります。

※木曜日の瓜田医師は紹介患者のみ対応いたします。

※救急症例につきましては、医師間で直接ご連絡いただければ対応いたします。

針刺し損傷時の受診体制について (※東胆振医療圏の医療機関が対象)

当院は、東胆振医療圏におけるHIV感染予防薬配置医療機関として、針刺し損傷等HIV感染の可能性のある曝露が発生した場合に備えて、抗HIV薬を配置し迅速に処方できる体制を整えております。

この度、針刺し・切創及び皮膚・粘膜曝露が発生した際に、当院での対応を希望される場合の受診方法について、下記のとおり整理いたしましたのでお知らせいたします。

抗HIV予防内服を希望される場合

- ・曝露源患者の感染（HIV抗体）状況、受傷者の妊娠有無などを確認いただき、予防内服についてご検討ください。
- ・予防内服が決定し次第、必ずお電話でご連絡の上で受診してください。
- ・抗HIV予防内服に必要な書類について記載いただき、受診前にFAXにてご送信ください。

自施設で針刺し後の対応が困難な場合

- ・「針刺し損傷に対する臨時での受診」として、必ずDr to Drによるお電話でご相談の上で受診してください。
- ・針刺し損傷用の情報提供書（当院様式）へ記載いただき、受診前にFAXにてご送信ください。

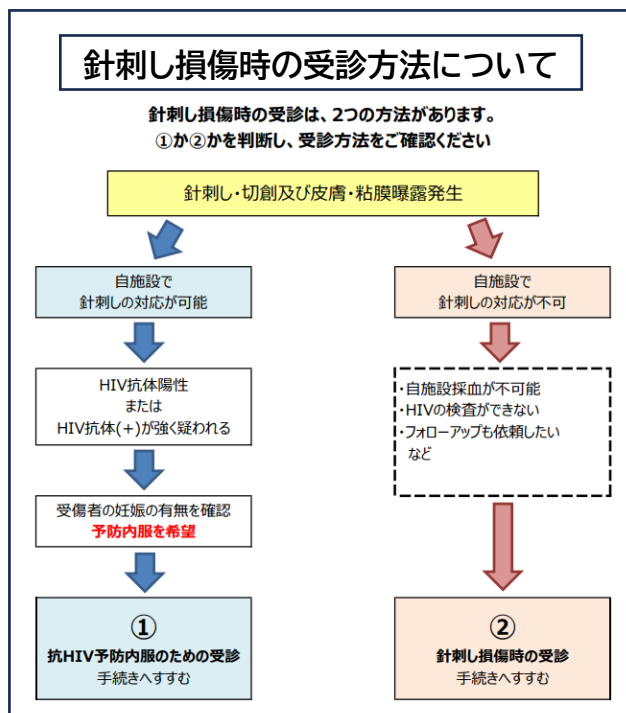
【共通事項】

受診手順及び必要書類など詳細につきましては、当院ホームページをご参照ください。

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hospital/gaiyo/harisashi.html>

🔍 苫小牧市立病院 針刺し

🔍 検索



【他の医療機関の皆様へ】針刺し損傷時の対応について

当院は「エイズ協力医療機関」の施設認定を受け、抗HIV薬を配備しています。針刺し損傷等、HIV感染の可能性のある曝露が発生した場合、迅速に内服できる体制を整えております。

また、針刺し・切創及び皮膚・粘膜曝露発生時に、自施設での対応が難しく、当院で対応を希望される場合は、下記に掲載した針刺し損傷時の受診方法に関する資料をご確認の上、連絡をお願いいたします。

(感染制御室)

PDF 【受診方法フロー】針刺し損傷時の受診方法について(408.81 KB)

1. PDF 抗HIV予防内服のための受診(809.10 KB)
 - (1) PDF 予防内服受診フロー・平日用(692.48 KB)
 - (2) PDF 予防内服受診フロー・夜間休日用(686.30 KB)
 - (3) PDF 受診予約票(530.07 KB)
 - (4) PDF 予防内服決定チャート(515.05 KB)
 - (5) PDF 予防内服説明書(498.71 KB)
 - (6) PDF 同意書様式(334.28 KB)
2. PDF 針刺し損傷時の受診(505.86 KB)
 - (1) PDF 針刺し受診フロー・平日用(688.15 KB)
 - (2) PDF 針刺し受診フロー・夜間休日用(664.65 KB)
 - (3) PDF 情報提供書(696.08 KB)

令和8年度「花しょうぶの会」(がん患者交流会)開催予定

当院では、がんの治療を受けている方や治療を経験された方が、安心して思いや体験を共有できる場として、がんサロン「花しょうぶの会」を開催しています。当院に受診されていない方でも参加可能ですので、対象となる方がおられましたらご案内ください。

開催日時

毎月第一木曜日(13:30~15:00)

- ※ 4月・3月は第二木曜開催予定です。
- ※ 予定変更となる場合がありますので、当院ホームページをご確認ください。

内容

- <前半> 当院職員による情報提供や運動体験などのミニ講座を行います。
- <後半> 参加者同士で自由にお話しいただく交流会を行います。
- ※ どちらかのみ参加も可能です。



<花しょうぶの会 会場>

令和8年度開催予定



日程	ミニ講座テーマ	ミニ講座講師
4月9日	「気楽に自分を整える」ヨガ	ヨガインストラクター
5月7日	医療費制度・在宅療養サービス	医療ソーシャルワーカー
6月4日	がん薬物療法と副作用	がん化学療法看護認定看護師
7月2日	自分らしく過ごすために	緩和ケア認定看護師
8月6日	がん治療中と口腔ケア	歯科衛生士
9月3日	がん治療薬の皮膚トラブルケア	薬剤師
10月1日	アピランスケア(ウィッグ・ネイル体験)	緩和ケア・がん化学療法看護認定看護師
11月5日	治療中の食事の工夫	管理栄養士
12月3日	手作りクリスマス	(交流会のみ)
1月7日	お家でできるリハビリ	理学療法士
2月4日	リンパ浮腫について	がん化学療法看護認定看護師
3月11日	心を穏やかに保つ方法	公認心理師



作成・発行 苫小牧市立病院 患者サポートセンター
(地域医療連携室)

住所 : 苫小牧市清水町1丁目5番20号
電話直通 : 0144-84-0158 (予約)
0144-84-0159 (相談)
FAX : 0144-33-4678



ホームページ